

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策I-5-1
雇用・就業の促進と人材の確保

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 雇用政策課長 川本 ゆかり 電話番号 0852-22-5296

事務事業の名称	若年者雇用対策事業	
目的	(1) 対象	①高校生及び大学生等 ②若年無業者
	(2) 意図	県内企業への就職及び職業的自立を促進する。
事業概要	①高校生の県内就職促進事業：人材確保育成コーディネーターを配置し、高校のキャリア教育等を活用し、県内企業理解を促進する。 ②大学生等の県内就職促進事業：県内大学や県外の就職支援協定締結大学等と連携し、低学年次から体系的に県内就職に対する意識付けを行う。 ③企業情報発信力強化事業：インターンシップ等を通じて、学生が必要とする情報を効果的に発信し、学生の県内企業に対する関心を高める。 ④「ジョブカフェしまね」の運営：若年者の就業支援の充実強化と県内産業を支える人材を確保するため、一貫した就職関連サービスの提供や職業意識の醸成を行う。 ⑤若年無業者の職業的自立支援事業：しまね若者サポートステーションを運営し、若年無業者に対して相談から就労、フォローアップまで一貫した支援を行う。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	高校卒業生の県内就職率	目標値		80.3	81.6	82.9	84.0	人
	式・定義	就職を希望する高校生の県内就職を促し、産業人材を確保する。	実績値	75.1	76.2	74.8			
			達成率	-	94.9	91.7	-	-	
2	指標名	「ジョブカフェしまね」での大学生インターンシップ実施件数	目標値		450.0	450.0	450.0	450.0	人
	式・定義	業務についての理解を深め、就職に対するイメージを具体化するために有効なインターンシップの実施件数	実績値	425.0	453.0	436.0			
			達成率	-	100.7	96.9	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	192,595	242,905
うち一般財源 (千円)	184,837	201,728

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・高校生の県内就職内定者数 平成27年度：994人、平成28年度：1,064人、平成29年度：1,060人
- ・大学院・大学生の県内就職内定状況（3月末時点） 平成27年度：26.4%、平成28年度：24.4%、平成29年度：25.6%
- ・高校卒業時における「しまね学生登録」登録者数（登録率）平成27年度：3,322名（72.2%）、平成28年度：3,384名（72.4%）、平成29年度：3,623名（78.3%）
- ・「しまね若者サポートステーション」を利用した就職者数 平成27年度：134名、平成28年度：201名、平成29年度：159名

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ①高校生の県内就職促進事業
 - ・県内企業との交流機会の拡大
交流会、見学会の実施校数及び参加者の増加（H28：8校875名→H29：16校3,316名）
- ②大学生等の県内就職促進事業
 - ・県内企業との交流機会拡大
就職支援協定締結大学との連携強化により、交流会、見学ツアー等の実施校数及び参加者の増加（H28：1校36名→H29：4校73名）
 - ・「しまね学生登録」の進捗率の向上（H28：72.6%→H29：78.3%）
- ③企業情報発信力強化事業
 - ・インターンシップ受入企業数の増加（H28：延べ252社→H29：延べ312社）
 - ・県内企業の魅力向上等に向けたセミナーの開催（H29新規）（参加企業数：延べ144社）
- ④「ジョブカフェしまね」の運営
 - ・積極的な広報により利用者就職者数の目標を達成（H28：1,977名→H29：1,856名）
- ⑤若年無業者の職業的自立支援事業
 - ・「サボステ松江」の「いきいきプラザ」への移転により、心と体の相談センターなど各種支援機関との連携強化が図れた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
 - ・県内高校生及び大学生の県内就職率が伸び悩んでいる。
 - ・ひきこもりの長期化・高齢化による無業者は増加傾向にあるものの「しまね若者サポートステーション」の利用者数が伸び悩んでいる。
- ②困っている状況が発生している「原因」
 - ・高校生、大学生等に県内企業の情報が十分に伝わっていない。
 - ・「どんな企業があるのか分からない」「働きたい企業がない」「魅力がある企業がない」など県内企業に対する高校生、大学生等の理解が不足している。
 - ・県外転出者が就職活動を行う際、県内学生と比べて費用面の負担が大きい。
 - ・「しまね若者サポートステーション」の事業内容の周知が不足している。
- ③原因を解消するための「課題」
 - ・高校生、大学生等に対して、低学年次から魅力ある県内企業の情報の継続的な発信。
 - ・インターンシッププログラムの改善などによる高校生、大学生等に対する県内企業の情報発信力の強化。
 - ・大学生等への情報提供の重要なツールとなる「しまね学生登録」の登録率の向上。
 - ・県外進学者が県内企業を理解するための支援策の充実。
 - ・様々な機会を利用した「しまね若者サポートステーション」の広報の強化。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・高校生や教員、保護者に対して、県内企業への理解促進を促すため、高校と連携した取組みを継続的に実施する。
- ・県内大学生等に対し、若手社員等との交流会や企業見学バスツアーなどを通じて低学年次から県内就職に対する意識が高まる働きかけを行った上で、インターンシップ等への参加により、県内就職へと繋げていく。
- ・新たに首都圏の大学と就職支援協定を締結し、県外の就職支援協定締結大学との連携を強化することにより、県外大学生の県内就職の促進を図る。
- ・県外の大学生等が県内企業のインターンシップや企業説明会に参加してもらいやすくなるよう、助成制度を見直す。
- ・インターンシッププログラム改善セミナー等を開催し、企業の情報発信力、採用力等を強化し、学生が就職先として県内企業を選択するように繋げる。
- ・各高校の教員及び生徒に「しまね学生登録」への登録メリットを理解してもらうため、各校への働きかけを強化する。
- ・県の広報や市町村への訪問等を通じて、「しまね若者サポートステーション」の事業周知に努め、関係機関との連携強化により、利用者及び就職者の増加を図る。

事務事業評価シート別紙(3以上の成果参考指標がある場合のみ記載)

事務事業の名称	若年者雇用対策事業
---------	-----------

成果参考指標の目標(実績)

項番	成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
3	指標名	就職者数	目標値		1,600.0	1,600.0	1,600.0	1,600.0	
			取組目標値						
	式・定義	「ジョブカフェしまね」を利用した就職者数	実績値	1,570.0	1,977.0	1,856.0			
			達成率	—	123.6	116.0	—	—	
4	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	—	—	—	—	—	
5	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	—	—	—	—	—	
6	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	—	—	—	—	—	
7	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	—	—	—	—	—	
8	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	—	—	—	—	—	
9	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	—	—	—	—	—	
10	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	—	—	—	—	—	